

泰明だより



Taimei・平成 30・1

泰明小ホームページ <http://www.chuo-tky.ed.jp/taimei-es/>

中央区立泰明小学校 第328号
中央区銀座五丁目1-13
Tel 03(3571)1765
Fax 03(3571)0672

新春の報より

校長 和田 利次

昨年末から報道されておりましたが、この度の国民栄誉賞に、将棋で初めて永世7冠を達成された羽生善治氏、囲碁で初の2度に渡っての7冠のタイトルを独占した井山裕太氏のお二人に決定しました。これまで、国民栄誉賞には、スポーツや文化・芸能関係者が多かったという印象が強かったのですが、将棋、囲碁の分野から選ばれたことに新鮮な気持ちになりました。(本校に昨年9月に来校された吉田沙保里さん、伊調馨さんのお二人も国民栄誉賞を受賞されていましたね。)

永世7冠、2度目の7冠タイトル独占、たいへんな偉業であります。例えば正しいかどうか自信ありませんが、プロテニスやプロゴルフの世界でメジャータイトルと呼ばれる試合がありますが、羽生氏は、どのタイトルも5回以上続けて、あるいは10回優勝している、井山氏はメジャータイトルのすべてに優勝した、あるいは続けて勝ったなどして、タイトル独占を2度達成したということでしょうか。しかも、7冠ですから、7つのメジャータイトルホルダーということになります。いつだったか講話で子どもたちにお話をいたしました。将棋や囲碁は、一手一手ごとに駒や石の置き方が変化し、将棋は10を220回掛けた数、囲碁は360回掛けた数だけ手の数があるそうです。最近はAI対決などありますが、お二人の名人の頭脳には、もう天文学的な数字の考え方が巡っているということでしょう。

そういう頭脳に国民栄誉賞が贈られたことに感激しています。もちろん、意力、精神力もです。

ところで、これも新春の報ですが、世界保健機構(WHO)がオンラインゲームやテレビゲームのやり過ぎによる障害を「ゲーム障害」と定義しました。ゲームをしたい衝動が抑えられなくなり日常生活など他のことより優先、健康を損なうなどの問題が起きてもゲームを続けてしまう特徴があり、これが12ヶ月続き、家族、社会、学習、仕事に支障が起きている場合だそうです。

プロの皆さまには失礼ですが、囲碁、将棋もゲームの一種と言えるのでしょうか。でも、WHOが言うところのゲーム障害の対象にはなりませんよね。どちらも頭脳を遣っているように思えるのですが遣う部分や範囲(脳内の)が違っていると私は考えます。人間の頭脳は、遣い方が大切なのです。人の頭脳には計り知れない世界が存在しているのです。新たな知を創る頭脳が人にはあるのです。

校長相談日 1月16日(火)
9:00~14:00

1月のカレンダー

このマークはセカンドバッグ登校日です。

1	月		元旦
2	火		
3	水		
4	木		
5	金		
6	土		
7	日		冬季休業日終
8	月		成人の日
9	火		始業式 PTA賀詞交歓会 B
10	水		給食始 安全指導 席書会 B 身体測定(5・6) りぷりんと
11	木	泰明読書	席書会 A
12	金	泰明読書	身体測定(1・2) A
13	土		新年子ども羽根つき大会
14	日		
15	月	講話	登下校安全確認旬間始 A 身体測定(3・4)委員会活動⑥ 囲碁教室(4)②③
16	火	泰明タイム・読書	書き初め展始 A 中学生・高校生職場体験(始)
17	水		地域巡回指導 B
18	木	泰明読書	学校公開①~④ A 命と心の授業(1,2)③(3,4)②学級活動(4)④ 中学生職場体験(終)
19	金	泰明読書	書き初め展終 高校生職場体験(終) A 登下校安全確認旬間終
20	土		
21	日		
22	月	講話	クラブ活動⑥ A 囲碁教室(4)②③そろばん教室(3)②③
23	火	泰明タイム・読書	そろばん教室(3)②③ A
24	水		研究授業のため6時間授業(2-2) B
25	木	泰明読書	みゆき通り清掃 新1年学校説明会 A
26	金	泰明読書	A
27	土		
28	日		
29	月	講話	クラブ活動⑥(3年生見学) A 囲碁教室(4)②③
30	火	保健講話 (林先生)	そろばん教室(3)②③ A 中国視察団来校
31	水		りぷりんと 昔遊びを教えてください会(1)③④ B

() は学年、○は実施する授業時間です。

席書会、書き初め展

文化委員会 片桐 淑子

江戸時代から続いている席書会。保護者のみなさんも小学生の時に経験があることと想います。泰明小学校でも10日、11日に席書会があります。1, 2年生は硬筆で、3~6年生は毛筆で作品を書きます。普段ノートなどに書き慣れている文字を、改めて一文字一文字丁寧に書くのはとても新鮮なことです。席書会の時は、息づかいが聞こえるほどの静けさです。パソコンの普及で、文字を書くことが少ない時代になりました。日本の文化の一つである墨や筆を使って字を書くことはまさに貴重な体験です。新年にあたり全校児童がそろって席書会をし、書き初め展で鑑賞し合うこの機会を楽しみ、書に興味をもつ子が増えてほしいと考えています。今年の書き初め展は、下記の日程で行います。会場に用紙を用意しましたので、頑張った子どもたちにとってきなメッセージをお願いします。

場所 講堂 日時 1月16日(火)~1月18日(木) 8:30~16:00
1月19日(金) 8:30~15:30 (片付けのため)

変身、昔遊び名人

1学年主任 飯田 恵子

生活科の単元「かぞくでいっしょにおしよがつ」では、冬休みの体験を発表し合うことから、お手玉やコマ回し、けん玉などの昔遊びをみんなでやってみたいという気持ちにつなげ、「もっと上手になりたい」とか「うまくいかなところを教えてもらおう」という意欲に発展させ、みんなで楽しく遊ぶ学習をしていきます。1年生は月1回、水曜日の5時間目にシニアボランティア「りぷりんと」の方々に、絵本の読み聞かせをしていただいています。いつもは絵本を読んでいただくだけなのですが、今月は昔遊びの遊び方やコツを教えてくださいたい機会をもって、かかわりを深めていくことを予定しています。遊びを通して、地域の方とふれ合ったり友達と教え合ったりすることで、自分の成長を感じたり周りの人に感謝する気持ちをもてるようにしていきたいと考えます。子どもたちが夢中で昔遊びに挑戦し、もっといろいろな遊びに挑戦してみたいとがんばる姿が楽しみです。

保健講話

保健主任 豊田 雅子

本校では児童の健康の保持・増進のため、保健指導を積極的に実施しています。

その取り組みの一つとして、毎月、学校医(内科)の林先生と学校歯科医の石川先生が交代で、全校児童を対象とした保健講話を行っています。

毎年、子どもたちの実態を考え、内容を決めています。例えば、先月の林先生の講話は「インフルエンザ~人にうつさない、うつらないために~」、石川先生の講話は、「はえかわる歯のひみつ」でした。朝の20分間という短い時間ですが、子どもたちは耳を傾け、自分の健康はどうか振り返り、役立てようとしています。

子どもたちが健やかに成長していけるよう、今後もさらに内容の充実を図っていききたいと思います。

囲碁教室

4学年担任 水野 雅史

1月より、4年生は囲碁教室を体験します。日本では、プロの棋士による試合からアマチュアの大会まであり、その競技人口は300万人から400万人とも言われています。そもそも、囲碁のはじまりは、四千年ぐらい前の中国と言われているようですが、中国ではなくインドやチベット発祥の異説もあり、はっきりしたことはわかっていません。日本への伝来は、奈良時代に吉備真備(きびのまきび)が遣唐使として唐から持ち帰ったという説がありますが、他にも飛鳥時代に伝わったという諸説があるほど、その歴史は長く伝統的な文化の一つであると言えます。中央区では、子どもたちの思考力や判断力の育成のために全小学校で囲碁教室を行っています。最近では、井山裕太九段が七冠達成したことも話題となり、人々の関心が高まっています。子どもたちには、ぜひ囲碁を体験するだけでなく、伝統的な文化に触れ、思考力や判断力を育ててほしいと思います。